

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 4 区分
【発行日】令和 5 年 10 月 19 日(2023.10.19)

【公開番号】特開 2023-101000(P2023-101000A)
【公開日】令和 5 年 7 月 19 日(2023.7.19)
【年通号数】公開公報(特許)2023-134
【出願番号】特願 2023-80869(P2023-80869)
【国際特許分類】

G 1 1 B 5/70(2006.01)

10

G 1 1 B 5/706(2006.01)

G 1 1 B 5/73(2006.01)

G 1 1 B 5/78(2006.01)

G 1 1 B 5/584(2006.01)

G 1 1 B 15/43(2006.01)

G 1 1 B 21/10(2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/70

G 1 1 B 5/706

G 1 1 B 5/73

20

G 1 1 B 5/78

G 1 1 B 5/584

G 1 1 B 15/43

G 1 1 B 21/10 W

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 10 月 11 日(2023.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テープ状の磁気記録媒体であって、

基体と、

前記基体上に設けられ、磁性粉を含む磁性層と

を備え、

前記磁性粉は、六方晶フェライト、酸化鉄または Co 含有スピネルフェライトを含み

40

、前記磁性層は 5 本以上のサーボバンドを有し、

前記磁気記録媒体の平均厚みが、5.6 μm 以下であり、

前記磁性層の平均厚みが、90 nm 以下であり、

前記基体の平均厚みを TB、前記磁気記録媒体の平均厚みを TL としたとき、 $(TL - TB) / TB$ の値が、0.41 以下であり、

前記磁性粉の平均アスペクト比が、1.0 以上 3.0 以下であり、

前記磁気記録媒体の長手方向における前記磁気記録媒体の保磁力 H_{c2} が、1000 Oe 以上であり、

前記保磁力 H_{c1} と、前記磁気記録媒体の長手方向における前記磁気記録媒体の保磁力 H_{c2} とが、 $H_{c2} / H_{c1} \geq 0.8$ の関係を満たし、

50

前記磁気記録媒体の長手方向のヤング率は、 8.3 GPa 以下である磁気記録媒体。

【請求項 2】

前記基体の平均厚みを T_B 、前記磁気記録媒体の平均厚みを T_L としたとき、 $(T_L - T_B) / T_B$ の値が、 0.39 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 3】

前記基体の平均厚みを T_B 、前記磁気記録媒体の平均厚みを T_L としたとき、 $(T_L - T_B) / T_B$ の値が、 0.37 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 4】

前記基体の平均厚みを T_B 、前記磁気記録媒体の平均厚みを T_L としたとき、 $(T_L - T_B) / T_B$ の値が、 0.35 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

10

【請求項 5】

前記基体の平均厚みが、 $4.2 \mu\text{m}$ 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 6】

前記磁気記録媒体は、前記磁気記録媒体の長手方向におけるテンションを増減させることで、前記磁気記録媒体の幅を調整可能に構成されている請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 7】

前記磁性層の表面の面積に対する複数の前記サーボバンドの総面積の割合が、 4.0% 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 8】

前記サーボバンドの数が、 $5 + 4n$ (但し、 n は正の整数である。) 以上である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

20

【請求項 9】

前記サーボバンドの幅が、 $95 \mu\text{m}$ 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 10】

前記保磁力 H_{c2} が、 2000 Oe 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 11】

前記基体の平均厚みが、 $3.8 \mu\text{m}$ 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 12】

前記六方晶フェライトが、 Ba および Sr のうちの少なくとも 1 種を含む請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

30

【請求項 13】

前記磁性層の平均厚みが、 70 nm 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 14】

前記保磁力 H_{c1} と、前記保磁力 H_{c2} とが、 $H_{c2} / H_{c1} \geq 0.7$ の関係を満たす請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 15】

前記磁性粉の平均アスペクト比は、 1.0 以上 2.5 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 16】

前記磁性粉の平均アスペクト比は、 1.0 以上 2.1 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

40

【請求項 17】

前記磁性粉の平均アスペクト比は、 1.0 以上 1.8 以下である請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 18】

前記基体と前記磁性層の間に下地層をさらに備える請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0006】

上述の課題を解決するために、本開示は、
テープ状の磁気記録媒体であって、
基体と、
基体上に設けられ、磁性粉を含む磁性層と
を備え、
磁性粉は、六方晶フェライト、酸化鉄またはCo含有スピネルフェライトを含み、
磁性層は5本以上のサーボバンドを有し、
磁気記録媒体の平均厚みが、 $5.6\mu\text{m}$ 以下であり、
磁性層の平均厚みが、 90nm 以下であり、
基体の平均厚みを T_B 、磁気記録媒体の平均厚みを T_L としたとき、 $(T_L - T_B) / T_B$ の値が、 0.41 以下であり、
磁性粉の平均アスペクト比が、 1.0 以上 3.0 以下であり、
磁気記録媒体の長手方向における磁気記録媒体の保磁力 H_{c2} が、 1000Oe 以上で
あり、
保磁力 H_{c1} と、磁気記録媒体の長手方向における磁気記録媒体の保磁力 H_{c2} とが、
 $H_{c2} / H_{c1} = 0.8$ の関係を満たし、
磁気記録媒体の長手方向のヤング率は、 8.3GPa 以下である。

10

20

30

40

50